

子育ては“孤育て”じゃない

育児はときに孤独になりがちです。今は、育児本やスマートフォンなどで手軽に情報を入手できます。一方で、どの情報を信頼していいのかわからず不安になる人も多いのではないのでしょうか。

市の「子ども総合相談室」には、保健師や心理士、保育士や家庭児童相談員といったスタッフがいます。1人で悩まず、相談してみませんか？

◆子ども総合相談室◆

家族や友人には相談しにくい問題も、他人だから相談できる、専門家だからこそ救われる言葉があるはずです。

天草中央保健福祉センター内
相談専用番号☎@0404

☎子育て支援課

1人で悩まずお話しましょ！



大きくなったかな？

【乳児家庭への訪問・健診などの実施】

市では生後4カ月までの赤ちゃんがいるすべての家庭を訪問し、赤ちゃんの身体計測や成長の確認、お母さんの体調や気持ちに耳を傾け、育児相談を受けています。

また、3・4カ月児から5歳児まで計5回の健診を実施し、成長の確認、時期にあった情報の提供や相談を受けています。育児学級や離乳食教室も実施しています。

☎健康増進課

安心して産み育てるために

【問い合わせ先】

本庁・健康増進課☎@0620 / 子育て支援課☎@5400
いずれも天草中央保健福祉センター内

子どもがほしいと思った時、仕事との両立や経済的な不安などいろんなことに葛藤したり、妊娠中もささいなことで不安になったりと、女性にとって妊娠出産は喜びであると同時に覚悟がいるものです。一方で、子どもと一緒に過ごす時間や成長を感じられる喜びは親にならなければ感じることはできません。子どもは社会の希望であり、未来を担う宝です。そんな子どもたちを安心して産み育ててほしい。

今号では、市が取り組んでいる妊娠や子育てサポートの取り組みを紹介します。

困ったときの強い味方



産後から始まる育児に心休まる日はありません。困ったときは、次の制度を活用しながら子育てを楽しみませんか。

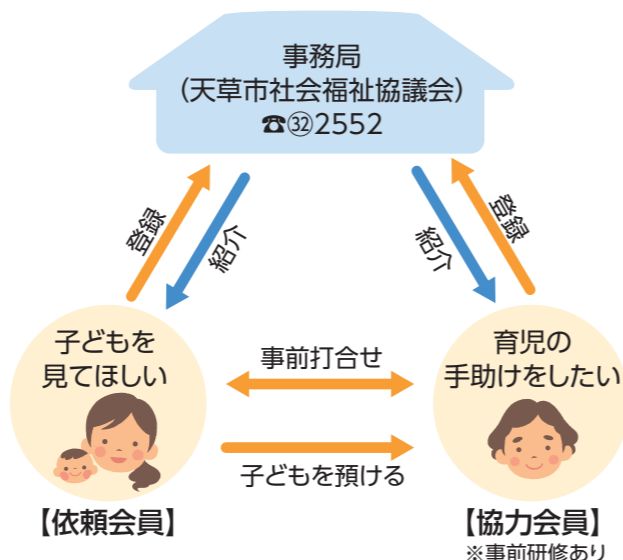
●●●●● 妊産婦日常生活支援 ●●●●● (妊娠中～産後6カ月以内)

妊娠中や産後にかけて、体調不良などで家事や育児が困難だけど、周りから支援を受けることができない人にヘルパーを派遣します。市社会福祉協議会またはNPO法人子育てネットワークわ・わ・わからヘルパーが伺います(有料)。※あらかじめ申請が必要です。

☎子育て支援課

●●天草市ファミリーサポートセンター●● (産後6カ月～小学6年生まで)

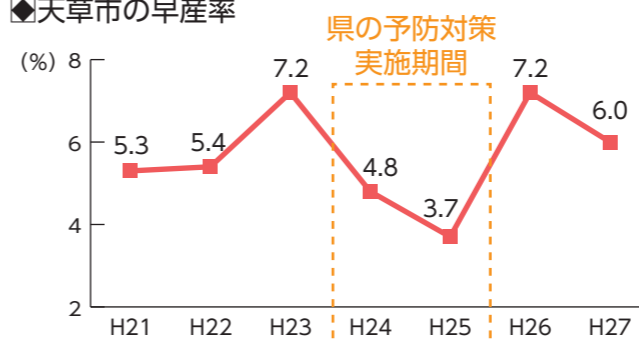
仕事などでどうしても子どもの送り迎えや世話ができないときに、手助けがほしい人と手助けをしたい人が会員になり、子育てを支え合う組織です(有料)。



☎子育て支援課

平成24・25年度に県が実施した細菌性膣症と歯周病の予防対策から、早産の減少につながっていることがわかります(下表参照)。

◆天草市の早産率



こんなことにも注意しましょう！

- 塩分の取りすぎ注意
- 体の冷えに注意
- 重いものはできるだけ持ち上げない
- 立ちっぱなしに注意
- ストレス・疲労をためない



☎健康増進課

早産予防始めました

歯周病が流産や早産、低体重児の出生につながりやすいことを知っていますか？歯周病を引き起こす細菌が、口の中から血液を通して体をめぐり、子宮内感染を起こすことでその確率を高めると言われています。

他にも早産の要因はありますが、市では“細菌性膣症”と“歯周病”に注目し、今年度から検査費用の助成を始めました。4月1日以降に妊娠届を出した人に2つの検査を無料で受けられる受診票を交付しています。早産を回避するために検査を受けましょう。

※1 早産とは、赤ちゃんが妊娠22～37週未満で生まれること。
※2 低体重児とは、出生時の体重が2,500グラム未満の新生児のこと。未熟児とも呼ばれる。